

上越ケーブルビジョン FM じょうえつ  
令和5年度  
第2回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和6年2月20日(火) 14:00~15:00  
開催場所 上越ケーブルビジョン本社  
出席者 委員数5名 出席委員数5名  
審議委員 松屋 徹 委員長、鈴木 陽一 副委員長、保坂 一八 委員  
高橋 朋美 委員、柴野 美佐代 委員  
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀  
メディアセンター課長代理 鶴見幸恵、メディアセンター 田原麻衣子

1 開会

2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

- (1) 1月1日地震関連の緊急放送について
- (2) その他
  - (a) あの頃青春グラフィティ公開生放送について
  - (b) 高田城址公観桜会特番について

4 議事の概要

- (1) 地震関連の緊急放送について
  - (事務局) 弊社で放送した地震関連の緊急放送について説明します。
  - (a) 1月1日 緊急放送
    - 概要 16:51~20:04 までテレビ同時生放送。ライブカメラの映像や上越市災害対策本部の中継や視聴者からの提供写真、取材映像を交えながら被害状況を伝えた。

5 審議内容

- (a) 1月1日
  - ① (審議委員) 放送を生で聞きながら職場に駆け付けた。落ち着いて状況を伝えていた印象。運転中は道路も渋滞し、目的地にたどり着けるか不安だったが、津波や道路・交通の状況などを放送から知る事が出来、心強かった。
  - ② (審議委員) ラジオを聴きながら職場に向かい、20時くらいまでFMを聴きながら作業していた。地元で根差した放送内容であり、的確に発信されていたと思う。
  - ③ (審議委員) 渋滞や路肩駐車を多く見かけた。渋滞している箇所なども伝えてもらえれば、渋滞緩和にもつながるのではないかと。
  - ④ (審議委員) 安塚では避難所が開設されていてスキー場から避難してきた人もいた。高速道路が止まっているなど、ラジオから得た情報が頼りになった。

- ⑤ (審議委員) 遮断機が下りたまま、踏切を渡れない場所も多かった。鉄道の運行状況とともに、そのような情報もあると良い。
- (事務局) 緊急放送の振り返りを各所とも行っている。いざという時に備えて、放送の体制・内容を引き続き整えたい。

(2) その他

(a) あの頃青春グラフィティ in2024 高田城址公園について

概要 3月30日(土) 13:00~15:55

高田城址公園オーレンプラザから生放送。

コミュニティFMで放送している番組「あの頃青春グラフィティ」の出張生放送。

地元ゲストも登場し、上越妙高地域の魅力を全国に発信する。

- ① (審議委員) 地元ゲストとしていろんな人が出演したら面白いと思う。
- ② (審議委員) 4000本もの桜が植えられた歴史を全国に発信しても良いのでは。
- (事務局) 上越市、妙高市の魅力発信に繋がるようなゲストを検討している。

(b) 第99回高田城址公園観桜会 特別番組について

概要 3月30日(土) 10:00~11:00 JCV本社と高田城址公園を中継で繋ぎ

桜の開花状況や会場のにぎわいなどを伝える。

テレビ・ラジオ同時生放送。

- ① (審議委員) 高田城址公園内にトラや猿などの動物がいた時代もある。
- ② (審議委員) 昔懐かしのエピソードを募集し番組で紹介すれば、幅広い年代層で楽しめそう。
- (事務局) 来年の100回目に繋がるような番組を検討したい。

(c) その他

(審議委員) お花見カラオケ大会の復活を希望。会場は一ヶ所だけでなく、中継やZOOMなどを通じて、各地の桜の名所など、様々なスポットから参加できると楽しいのではないかと。

(事務局) 近年のメディアの影響も受け、世代を問わず楽しめるのがカラオケ企画だと思う。検討していきたい。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

- ①事務所への備え置き
- ②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載

7 閉会

議事録署名人 \_\_\_\_\_ ㊟

議事録作成人 上越ケーブルビジョン 鶴見幸恵 ㊟